

芸備線利用促進について



令和4年2月7日
広島県
庄原市
(合同発表)



目次

- 1 利用促進事業の全体像
- 2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況
- 3 令和3年秋 利用促進事業の分析
- 4 今後の取り組み

目次

- 1 利用促進事業の全体像**
- 2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況
- 3 令和3年秋 利用促進事業の分析
- 4 今後の取り組み

1 利用促進の全体像

広島県の方向性

方向性①
通勤利用の拡大

方向性②
通学利用の拡大

方向性③
地域住民の外出
増・関係人口の
誘引

方向性④
観光利用の誘引
移動手段の鉄道
への転換

庄原市の方向性

方向性①
生活交通として
の利用促進

方向性②
市外からの乗客
の呼び込み

【事業一覧】

- 庄原市職員を対象とした「芸備線利用促進デー」
- 市民グループ運賃助成
- 庄原市内の高校へ通学する生徒を対象とした高校生通学モニター調査
- 交通コンサルによる利便性向上に向けた調査事業
- 官民による利用促進協議会の設置
- 芸備線おもてなしイベント、庄原駅前フェスタ、県境鉄道サミット等
- 広島駅前マルシェ、並木通りミニマルシェ
- 庄原ライナー等の増便に合わせた着地ツアー
- 応援商品開発支援事業
- データ分析による移動実態の把握・分析等

など

方向性③ 利用促進への市民参画

目次

- 1 利用促進事業の全体像
- 2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況**
- 3 令和3年秋 利用促進事業の分析
- 4 今後の取り組み

2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【庄原市①】

➤➤ (1) 生活交通としての利用促進（芸備線利用のきっかけづくり）

庄原市職員による「芸備線利用促進デー」

○ 目的

芸備線沿線に居住する市職員が通勤に芸備線を利用することで、乗車人員の増加に繋げるとともに、職員が率先して取り組むことで、芸備線利用の機運を高め、市民や企業等への利用を呼びかけ、利用機会の増大を図る。

○ 内容

- ・ 実施期間：令和3年10月22日～12月27日
- ・ 実施回数：5回
- ・ 全庁及び所属課で設定された「一斉定時退庁日」を芸備線で通勤する利用促進デーとして設定
- ・ 趣旨に賛同した職員がエントリーし、利用した際の感想や意見を把握、分析することでさらなる利用促進事業への展開に活用する。

○ 実績

- ・ エントリー数：56人
- ・ 利用者数：延べ172人(34.4人/回)

○ 主な意見

- ・ 一過性でない継続的な取り組みが必要
- ・ 高校生の重要な移動手段だとわかった
- ・ 利用促進には情報発信が極めて重要
- ・ 通勤・通学の利用はもとより、観光面など多様な利用促進対策が必要

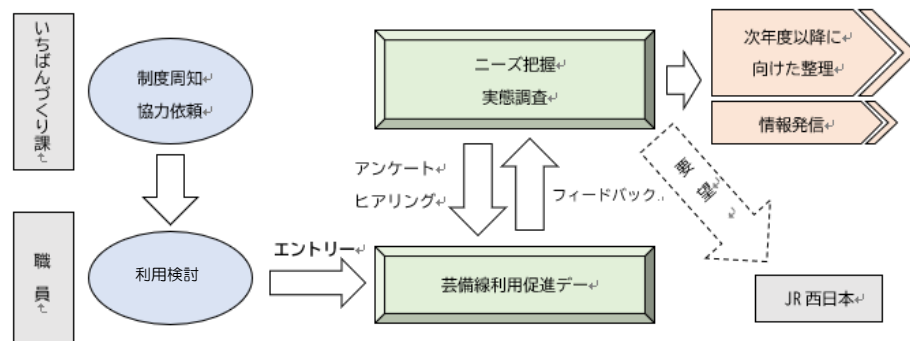
▼芸備線で通勤する職員



▼新聞記事



【流れのイメージ】



2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【庄原市②】

➤ (2) 市外からの乗客の呼び込み（臨時便を活用したツアー実施）

庄原ライナーツアー （一社）庄原観光推進機構

- ツアー行程（庄原ライナー運行日 10/23～12/12 土日祝）

庄原ライナー 貸切バス
 広島駅（10:05）⇒ 備後庄原駅（11:56）⇒ 昼食（庄原市内）＝

<10/23～11/14> 帝釈峡コース

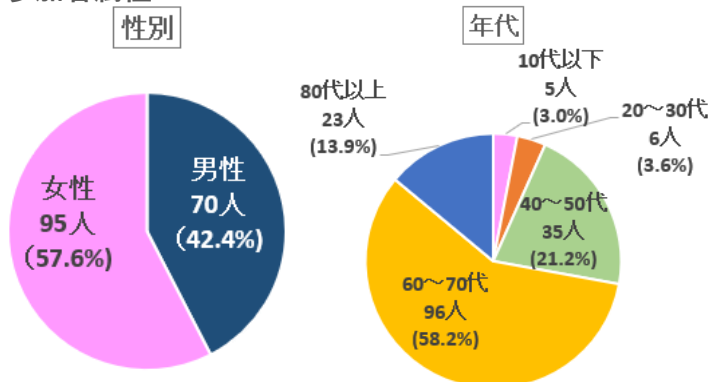
貸切バス 高速バス
 ⇒ 帝釈峡（神龍湖）・東城街並み＝東城駅⇒広島駅（19:12）

<11/20～12/12> 木次線コース

貸切バス 木次線（スイッチバック） 貸切バス 芸備線（定期便）
 ⇒ 熊野神社＝備後落合駅⇒出雲坂根駅⇒備後落合駅⇒広島駅（20:56）

- 実績
 - ・ 催行日数 13日/全18日（72%）
 - ・ 参加人数 165人/目標200人（83%） 内訳：帝釈峡コース69人/木次線コース96人
 - ※ R1（15日）：258人/R2（11日）：227人

- 参加者属性



居住地	人数
広島市	136人
府中町	7人
東広島市	5人
呉市	4人
廿日市市	4人
北広島町	2人
三原市	2人
庄原市	2人
徳島市	2人
坂町	1人

そうだ、芸備線で行こう。備後庄原駅から貸切バス 庄原から地元「やまなみガイド」同行!

芸備線 期間限定直通列車

庄原ライナー X 高速乗合バスの旅

広島県中山間地域魅力向上事業補助金適用事業

帝釈峡

帝釈峡・神龍湖
遊覧船で秋満喫と
東城の街さんぽツアー

紅葉の名所 帝釈峡神龍湖
比羅道権堂御堂公園の幸和庵、カリス、ト各地の作り出した迫力の空想空想の神龍湖を遊覧船で楽しみます

参加特典
初日10/23
1000円クーポンプレゼント

出発日 10/23～11/14の土日祝
10/23日、24日、30日、31日、11/3日、6日、7日、13日、14日
大人 9,800円 6,800円 (税込)
小学生以下 6,800円 (税込)
最少乗客人数10名

広島駅(10:05)⇒備後庄原駅(11:56)⇒かんぱの備後庄原(昼食)⇒遊覧船・神龍湖で遊覧船⇒東城の街並み散策⇒道の駅YOHIOひろの里東城(お買物)⇒幸城駅(16:21)⇒高速乗合バス=広島駅新幹線口(19:12)発

木次線三段スイッチバック体験と森の中の霧ジェラートツアー

三段式スイッチバック
総距離約1kmの1区間が高低差162mに達し、急勾配を列車の進行方向を逆にして進む列車を切り替え、駅間の間にわたって前後を切り替える方式で、JR西日本ではここだけ

出発日 11/20～12/12の土日祝
11/20日、21日、23日、27日、28日、12/4日、5日、11日、12日
大人 9,800円 6,800円 (税込)
小学生以下 6,800円 (税込)
最少乗客人数10名

広島駅(10:05)⇒備後庄原駅(11:56)⇒JR木次線三段式スイッチバック体験⇒出雲坂根駅⇒出雲おくらパーク(買物)⇒クリンフィールド西蔵(ジェラート)⇒備後落合駅(17:15)⇒広島駅(20:56)

- R3.8.27～9.30 緊急事態措置
- R3.10.1～10.14 新型コロナウイルス感染症集中対策措置
- R3.10.8 JR西日本広島支社 秋増便発表
- R3.10.12～ 庄原ライナーツアー 募集開始
- R3.10.15～ 広島県観光誘客促進事業「やっぱ広島じゃ割」対象割引プラン販売開始

2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【庄原市③】

➡ (2) 市外からの乗客の呼び込み (3) 利用促進への市民参画 + 沿線地域との連携



10/23(土) 駅前フェスタ (備後庄原駅) ~芸備線対策協議会「芸備線おでむかえイベント」

- 目的
芸備線沿線市とともに、秋季臨時増便期間の開始日に「おでむかえイベント」を開催し、駅周辺の活性化と芸備線の利用促進を図る。
- 主催 庄原駅周辺地区まちづくり協議会
- 来場者 約500人 (内JR利用者263人)
- 内容 <テーマ「花」>
駅舎を花で飾り、「花のまちしょうばら」をイメージ
・寄せ植え・ハーバリウム 教室
・鉄道ジオラマ展示 ・「てトロ」体験
・鉄道クラフト講座 (JR西日本協力)
・木次線・新見市紹介コーナー など

10/23(土) お出迎えイベント (備後落合駅)

- 目的
備後落合駅までの臨時列車の運行を記念し、「ようこそ備後落合駅へ」の意を込めた住民によるお出迎えイベントを開催し、芸備線・木次線の利用促進を図る。
- 主催 備後落合駅イベント実行委員会
- 来場者 約300人 (内JR利用者約100人)
- 内容
地元の自治振興区や地域団体等が出店し、飲食や物販で芸備線等で備後落合駅を訪れた方々をおもてなした。(報道取材あり)
・歓迎セレモニー
・西城ブルーハーモニー演奏会
・名物「おでんうどん」販売 など



11/23(火・祝) 県境鉄道サミット (八銚自治振興センター)

- 目的
庄原市・奥出雲町・新見市が連携し、芸備線・木次線の利用促進への機運醸成や地域間交流の推進等を図る。
- 主催 県境鉄道サミット実行委員会 (庄原市・奥出雲町・新見市)
- 来場者: 約400人 (内JR利用者約100人)
- 内容
・3市町からの事例発表
・3市町の特産品 「そば」の食べ比べ
・各地域の特産品販売
・神楽上演など
- その他
多くのテレビや新聞等で広く報道された。



2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【庄原市④】

➤➤ (3) 利用促進への市民参画 + 駅の魅力づくり

内名駅 ～田森自治振興区

- ・ 缶バッジ配布
- ・ 駅スタンプ
- ・ YouTubeによる発信



備後西城駅 ～NPO法人西城町観光協会

- ・ 備後西城駅EKINAKA (カフェ)
- ・ SNSによる発信 (Instagram・YouTube・Twitter)
- ・ 新そばまつり



備後庄原駅 ～市役所 + 備北丘陵公園・口和郷土資料館

- ・ ドライフラワーによる装飾, 駅イルミ (備北丘陵公園)
- ・ 蓄音機コンサート (口和郷土資料館)



山ノ内駅 ～山内自治振興区

- ・ 山ノ内駅周辺の草刈り + 乗車体験



2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【庄原市⑤】

▶▶ (3) 利用促進への市民参画＋民間による利用促進活動

カープ号 (ラッピングトレイン)



庄原市の住民有志による「芸備線にカープ号を走らす会」が企画。寄付を募ったり、たる募金を設置するなどし、市内外から応援の声と共にラッピング費用300万円を集めた。カープ球団も全面協力し、車内には、若手選手10人による「芸備線応援ポスター“ひと肌脱ぐ。”」が掲示された。(カープ球団による応援ポスターは、3か月ごとに入れ替えて、令和4年11月まで掲示予定)

運行を開始した11月28日には、臨時列車が運行され、沿線で住民が旗を振って出迎えたほか、備後庄原駅で開催された歓迎イベントには、庄原駅周辺地区まちづくり協議会やカープ応援隊も協力。スライリーも登場し、約400人が集まった。カープ号は、令和5年3月まで、芸備線と福塩線で定期運行する。



カレンダー作製

備後庄原駅周辺地域のにぎわいづくりをめざす「庄原駅周辺地区まちづくり協議会」や地元金融機関がカレンダーを作製。



庄原駅周辺地区まちづくり協議会500部作製・完売 (JR西日本商品化許諾済)
広島みどり信用金庫ポスター500部・隔月めくり5800部作製配布

署名活動

地元の商業施設では、今昔の芸備線写真展を開催するとともに、芸備線存続を願う署名活動を行い、約1500人分を集めた。



芸備線・木次線 応援ポロシャツ

NPO法人西城町観光協会が、市民一体となって鉄道の活用に取り組む機運を盛り上げるため、庄原市内を走る芸備線と木次線をモチーフとしたポロシャツ約400枚を受注販売。(現在は販売終了)



広商デパート

県立広島商業高校の生徒が芸備線の利用促進に協力したい、との思いから(模擬)株式会社広商デパートで芸備線沿線の商品を販売。

販売に先立ち庄原市内の地域資源の調査に芸備線に乗って来訪。

10月23日備後落合駅「お出迎えイベント」に芸備線を利用し参加、11月21日広島駅で開催された「芸備線マルシェ」にも協力。

12月11日・12日の広商デパート当日は、沿線産品を販売し、芸備線を盛り上げた。



11/21芸備線マルシェでは、芸備線で産品を運び、広島駅での販売に協力

2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【広島県①】



- ・地域住民の外出増，関係人口の誘引
- ・観光利用の誘引・移動手段の鉄道への転換



11/27(土) 並木通りで「庄原芸備線ミニマルシェを実施」

- 目的
庄原の観光スポット・芸備線臨時便などをPR
- 内容
広島市並木通りにて，庄原の産品を販売しつつ，通行する方に観光スポットや臨時便のパネル等を展示してPR
- その他
12/4(土)の庄原駅前イベントへの芸備線を使ったモニター参加者を募集
- 来場者など
ブースを覗いた方：約400人
産品購入者：約60人

12/4(土) 庄原駅前イベントにて広島市内の雑貨店を限定出店

- 目的
JRでアクセスしやすい駅周辺に目的を作り，鉄道利用者の増加を図る
- 内容
庄原駅前でもフードトラックやダンスなどのイベントを開催。
- その他
11/27(土)に広島市で募集したモニター12人も参加。初めて芸備線に乗車した方も。広島市内の雑貨店が限定出店し，想定を大きく超える売上を確保。
- 来場者
駅イベント来場者：約300人



12/4(土) 自治振興区等で行われているイベントを庄原駅前で開催

- 目的
JRでアクセスしやすい駅周辺に目的を作り，鉄道利用の増加を図る
- 来場者：約35名
(普段は主に同イベントへ自家用車等で来場している方)
- 内容
普段は自治振興区等で開催されているイベント（歌声広場）を庄原駅前で実施。普段は車参加している同イベントの常連客などが鉄道で来場。



2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【広島県②】

地元市・沿線協議会が企画する利用促進策への補助（一部事業紹介）



芸備線おもてなしイベント

- 実施団体：芸備線対策協議会
- 時期：10/23
- 内容：4 駅同時にイベントを開催
 - ・ 井原市駅(参加者約500人)：
ハング・パラグライダー見学，産直市，荒谷山ツアー等
 - ・ 向原駅(参加者30人)：
道の駅三矢の里あきたかた・紅葉の郡山城跡をめぐるツアー
 - ・ 三次駅(参加者約500人)：
JRふれあい体験，歴代列車ヘッドマーク展示，市内観光周遊シャトルバス 等
 - ・ 備後庄原駅(参加者約500人)
駅前フェスタ(前記参照)



駅カード・情報誌作成 スタンプラリー

- 実施団体：芸備線対策協議会
- 時期：10/23～(※)
- 内容：
 - ・ 各駅の駅カードを作成し，鉄道利用者に配布。(※無くなり次第終了)
 - ・ スタンプラリー応募用台紙は備後庄原駅と上下駅で配布(※～12/26)
 - ・ 観光スポットや鉄道情報等を記載した情報誌を作成。



フォトジェニック オブジェ設置

- 実施団体：芸備線対策協議会
- 時期：10/23～12/26
- 内容：志和口駅周辺地域と協働し，子供から高齢者まで様々な地域住民100名分の写真を撮影し，100本の「のぼり旗」を設置。

2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況【広島県③】

県内自治体・民間による利用促進活動

芸備線への愛を「つなぎ絵」で

- 安芸高田市の向原高校が芸備線関連の絵やメッセージをリレー形式で模造紙に描く「つなぎ絵」を企画。
- SDGsの一環で「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」を目指したもので、広島市を含む周辺の小中高校、保育園に呼び掛けて協働で作成。
- つなぎ絵は各校、保育所等を順次回り、完成後は安芸高田市と広島市内各駅等への展示を予定。
- 同じく両市沿線の9つの高齢者施設などが趣旨に賛同し、今年2月の作成を目指す。



カープ号たる募金 (庄原市以外の支援)

三次ワイナリー、安芸高田市の甲立地域振興連合会、広島市安佐北区の自治組織、城北高校、福塩線沿線の上下町などでも住民有志がたる募金で支援。



三次ワイナリー

三次高校WS

- 利用促進策について、三次高校生と大人と一緒に考えるワークショップを6月から開催
- 7月に三次駅でフィールドワークを行い、12月に最終報告会を実施
- 高校生の考える利用促進策をJR西日本三次鉄道部等にプレゼン



最終報告会

目次

- 1 利用促進事業の全体像
- 2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況
- 3 令和3年秋 利用促進事業の分析**
- 4 今後の取り組み

3 令和3年秋 利用促進事業の分析

➤➤ 備後庄原駅・備後落合駅 利用者の状況（利用促進前との比較）

備後庄原駅	乗降者数	要素	利用促進前 (10/16)対比
10/16 (土)	63人	利用促進前	—
10/23 (土)	265人	増便, 着地ツアー 駅前イベント	320%増
11/20 (土)	121人	増便, 着地ツアー	92%増
12/ 4 (土)	192人	増便, 着地ツアー 駅前イベント	204%増

備後落合駅	出発時 乗車人数	要素	利用促進前 (10/16)対比
10/16 (土)	58人	利用促進前	—
10/23 (土)	91人	増便, 駅前イベント	56%増
11/20 (土)	105人	増便	81%増
11/23 (火・祝)	126人	増便, 鉄道サミット	117%増
12/ 4 (土)	98人	増便	68%増

参照：備後落合駅10/23・11/20・11/23・12/4の数字はJR西日本乗込調査
 ※備後落合は乗降客がほぼいないため、出発時乗車人数で比較

3 令和3年秋 利用促進事業の分析

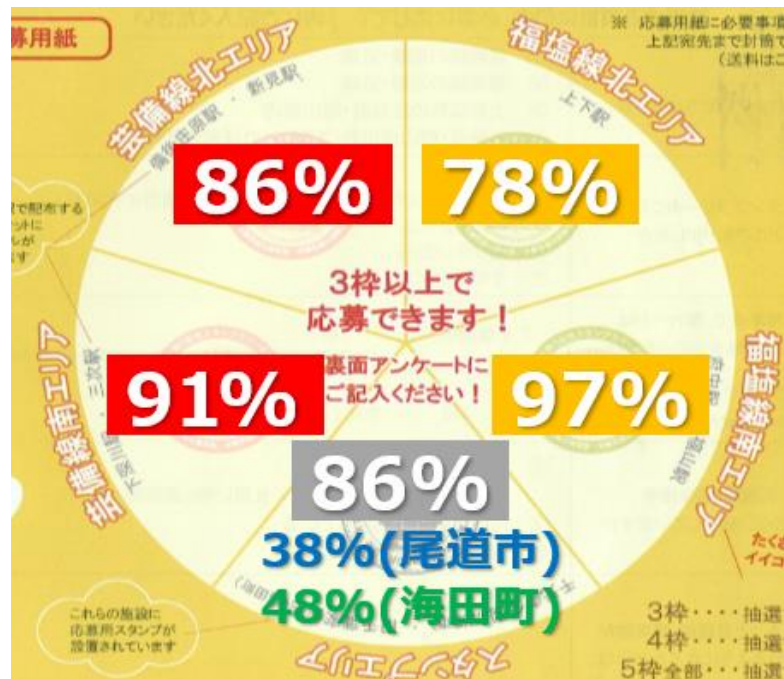
➤➤ 駅カード・駅カード発行記念スタンプラリー

- 駅カード (R3/10/23~R4/3/27)
 - ・各配布場所で300~500セットを配布 (R3/12月末時点)
- スタンプラリー (R3/10/23~12/26)
 - ・応募用の台紙を備後庄原駅と上下駅で配布
 - ・芸備線・福塩線を5つのエリアに分け、3エリア以上を回ると商品に応募可能 (抽選)
 - ・4~5エリア回ると当選確率アップ!

枚数	応募数
5枚	158
4枚	56
3枚	55

芸備線・福塩線の利用頻度	回答数
日常的	8
月に数回	70
利用しない	186

応募者のシール・スタンプ収集率



応募者の地方属性	
広島県：63%	中部：12%
中国：10%	関東：8%
近畿：5%	その他：2%

- 「広域にわたって周遊する」仕掛けにより、複数日×複数列車の利用に繋がっている
- 応募者の37%は広島県外からの参加。中部地方等、新幹線の利用が想定される参加者も一定数存在

3 令和3年秋 利用促進事業の分析

➤➤ 庄原ライナーツアー・駅イベント・モニターツアー 参加者アンケート

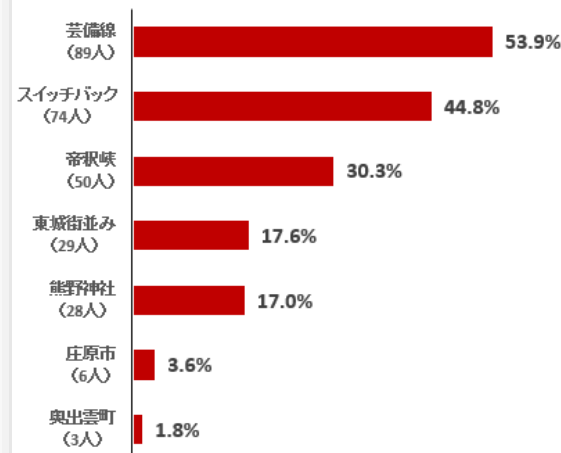
・ライナーツアーの参加目的

「芸備線（53.9%）」「スイッチバック（44.8%）」と、
鉄道そのものを楽しむことを挙げた人が多い。

・自由意見では

- ✓ 芸備線の車窓からの風景がよかった
- ✓ 芸備線にいつも乗ろうと思っていましたが、
日帰りできないので 見送っていました
- ✓ ツアーの帰りが遅いので、出発をもう少し早くしてほしい
- ✓ 鉄道+貸切バスで観光地を巡れるとわかった
- ✓ モデルコース等の情報が必要
- ✓ 駅から目的地まで行く方法やお得な切符の情報があればよい
- ✓ 駅周辺に、カフェ等の飲食店やコンビニ等があればよい

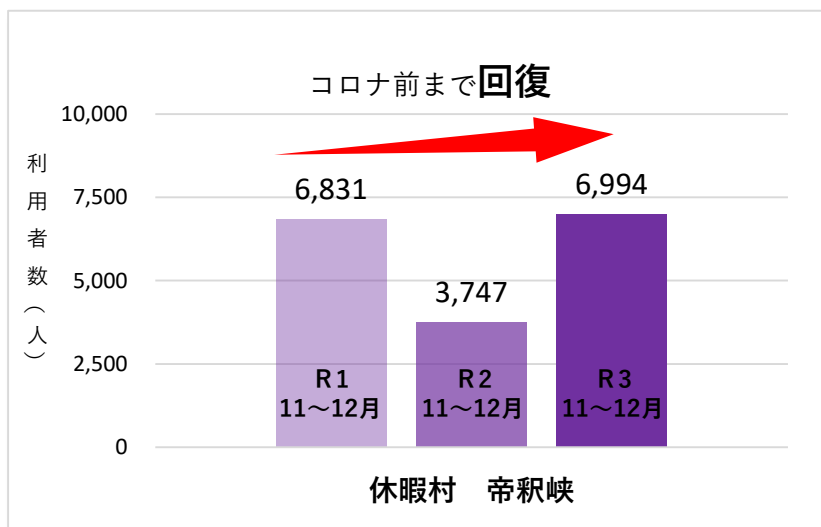
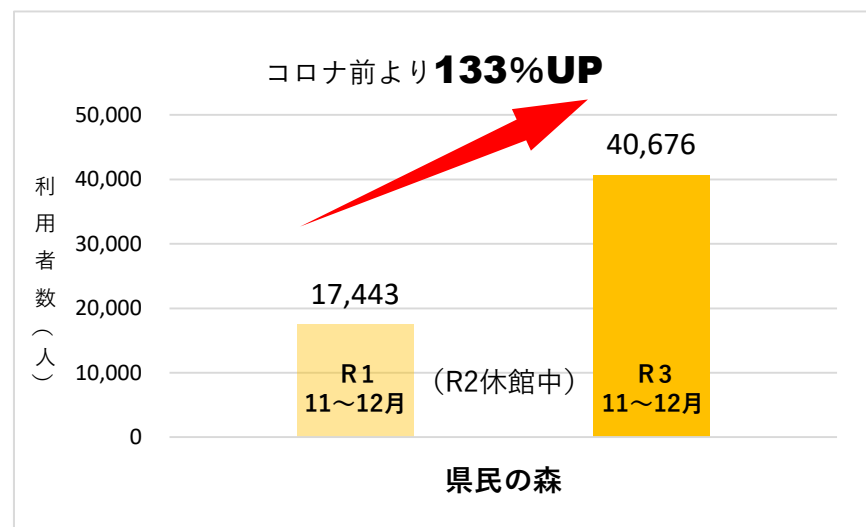
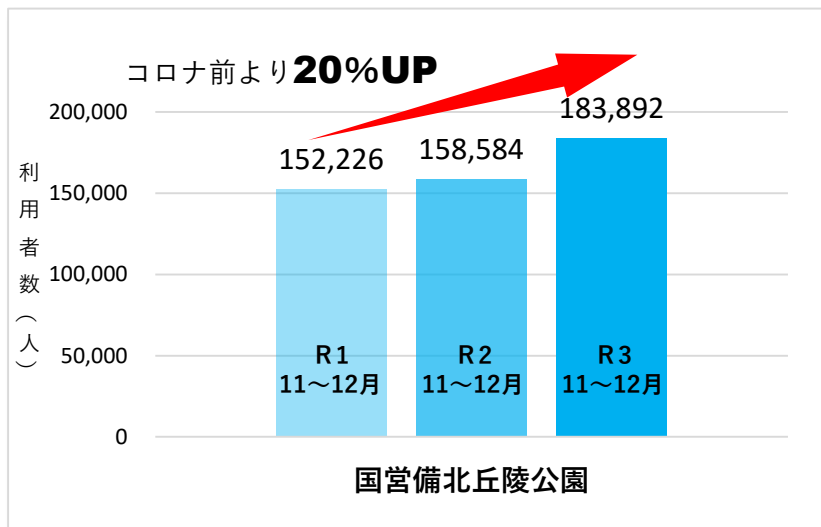
何に興味をもって申し込みましたか？(複数回答)



- 「芸備線」が移動手段であるだけでなく、芸備線・木次線に「乗る」ことが、旅行の目的のひとつになっている。
- 通常ダイヤでは、芸備線を利用した旅行が難しく、増便ダイヤにより実現できている。
- 芸備線を利用した庄原市内への移動に必要な情報が不足している
- 駅周辺地域が目的地となるような仕掛けが必要である

3 令和3年秋 利用促進事業の分析

増便期間中の庄原市内観光施設の利用状況



- 新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せていた11月・12月に限れば、コロナ前の水準まで回復または増加しており、「マイクロツーリズム」や「自然」への関心の高まりが見られる。
- 「芸備線」を観光コンテンツとして捉え、庄原市観光に上手く組み合わせることで、芸備線を活用したさらなる誘客が期待できる。

3 令和3年秋 利用促進事業の分析

➤➤ 駅利用者の状況やアンケート等を踏まえて

- 午前中の増便ダイヤにより，庄原市内を訪れやすくなった
- 増便やイベント，ツアーが芸備線利用のきっかけになった
- 「鉄道」や「駅」が旅行の目的になっている
- 芸備線利用のために必要な情報が届いていない
(ダイヤ，企画切符・ツアー，モデルコース，駅から目的地までの移動方法など)

**芸備線を利用していない人を
芸備線利用者に転換できる可能性がある**

その実現のために継続した利用促進が必要

- ▶ 芸備線に乗る，駅に来る機会の創出
- ▶ 幅広い世代への効果的な情報発信
- ▶ 芸備線利用促進の機運を高める

目次

- 1 利用促進事業の全体像
- 2 令和3年秋 利用促進事業の取り組み状況
- 3 令和3年秋 利用促進事業の分析
- 4 今後の取り組み

芸備線に乗る，駅に来る機会の創出

- 住民や関係団体等と連携し，駅の魅力づくりや臨時店舗の営業，駅周辺でのイベントの開催，芸備線を利用したツアーの企画，観光施設との連携などを行う。
- 現在，広島県が実施中の「データによる移動実態の把握と分析」において，イベントアンケート結果等を加味し，現状分析を行う。現状分析の結果，根拠となる移動実態が確認された場合，利用促進事業として，具体的に検討することとする。

幅広い世代への効果的な情報発信

- 芸備線駅から目的地への行き方，無人駅での乗降方法，ツアーやお得な切符情報等，知らないことによって，自家用車で来てしまっている可能性が推測される。内容やターゲットに応じた広報媒体を利用し，情報をしっかり届けることで，潜在ニーズの掘り起こしを行う。

芸備線利用促進の機運を高める

- 住民の利用促進機運を醸成するため，芸備線を利用する，盛り上げる取り組みを行う沿線地域の団体を支援する。
- 沿線住民で利用促進内容を話し合う場を設け，自治体以外からも様々な取り組みが実施されることを目指す。

4 今後の取り組み 【庄原市】令和3年度分①

(1)利便性向上に向けた調査事業（実施中）

○目的

利用促進につながる啓発やダイヤ編成等の検討、提案にあたっての具体的要件と利用促進策などを調査・検討し、さらなる利用促進等の対策を講じることを目的に実施。

○業務受託者：一般財団法人 地域公共交通総合研究所

○業務内容

①利用者の利便性の高い運行ダイヤ案の作成

②利用促進案の抽出と検討

③芸備線の地域における定性評価

④令和3年度の検討内容を踏まえた令和4年度になすべき課題の抽出

⑤課題を解決するための具体的なアクションプランの提案

など

(2)庄原市芸備線・木次線利用促進協議会の設置

○目的

地域において重要な移動手段である芸備線・木次線について、鉄道の持つ広域ネットワークの特性や多様な価値を共有し、地域住民等の利用促進につながる取り組みを推進することにより、利用客の増加に寄与することを目的とする。

○組織体制

・学識経験者、広島県、観光関係団体、地域団体、庄原市など9名の委員で構成。

・「地域チーム」を設置し、芸備線沿線地域である庄原地域、西城地域、東城地域で構成。

○事業内容等

①地域における利用促進対策の推進

②利用促進につながる普及・啓発・実践

③高校生など鉄道ニーズの高い利用者のサポート

④地域からの情報発信

など

(3)市民による芸備線利用促進デーの本格実施

○目的

市職員の利用促進デーの取り組みを踏まえ、広く市民や企業等へ利用を呼びかけ、通勤等へ利用してもらうよう働きかけることで、利用機会の増大を図る。

○事業内容

- ①商工団体等を通じた市内事業所への芸備線等の利用促進デーの設定を依頼
- ②通勤利用等を後押しする新たな支援制度の検討 など

(4)芸備線・木次線応援商品開発支援事業(実施中)

○目的

芸備線・木次線をPRするとともに、ふるさと応援寄附金等を通じた市外からの応援を募るため、芸備線・木次線応援商品の開発を進め、利用者増加に向け取り組む。

○事業内容等

- ①芸備線・木次線沿線の魅力が伝わる商品のブラッシュアップ
- ②ふるさと納税の返礼品として広くPR
- ③財源の確保により、さらなる利用促進策への展開 など

令和4年度も「利用促進への市民参画」，「生活交通としての利用促進」，「市外からの利用客の呼び込み」の3つの柱で取り組みを強化する。

検討中の主な取り組み（予定）

● 「利用促進への市民参画」

- 鉄道の広域ネットワークを活用した連携
⇒ 県境鉄道サミット開催

- 沿線地域団体の活動支援（市民と一体となって芸備線を盛り上げる）
⇒ 芸備線を利用する，盛り上げる取り組みを行う沿線地域の団体を支援

● 「生活交通としての利用促進」

- 市民利用の支援
⇒ グループ利用助成
⇒ 庄原市独自のキャッシュレスカード（なみか・ほろかカード）決済への対応
※ 券売受託駅のみ

● 「市外からの利用客の呼び込み」の

- 観光プロダクト開発
⇒ 芸備線を利用して体験できる沿線にあるプロダクトの掘り起こし・開発
⇒ 観光プロダクトのテストマーケティングの実施

- 沿線の観光情報宣伝・発信

⇒ 沿線の情報を集めたポータルサイトの開設・雑誌への記事掲載

など

4 今後の取り組み 【広島県】 令和3年度分

高校生通学モニター調査（実施中）

- 目的
高校生の通学利用の増を図る
- 内容
 - ・ 庄原市内の高校に通学している生徒のうち、希望者に1ヶ月の芸備線定期券を交付。
 - ・ 実際に鉄道を利用してもらうことで通学選択肢の一部としての利用増を図ること、また、モニター終了後のWSで利用上の課題・解決策を議論する。
 - ・ 希望者にはe-bikeを貸与し、駅→自宅の2次交通を改善
- 参加者・時期など

高校	参加者	モニター期間
庄原実業高校	14人	1/7（金）～2/6（日）
庄原格致高校	4人	1/24（月）～2/23（水）
西城紫水高校	4人	1/24（月）～2/23（水）

芸備線で通学してみん？

高校 ●●●●さんの場合

登校時
自宅 → YYY/線 → 備北交通 → XXX駅 → 芸備線 → 備後庄原駅 → 徒歩 → 学校

下校時
学校 → 徒歩 → 備後庄原駅 → 芸備線 → XXX駅 → 備北交通 → YYY/線 → 自宅

MY時刻表(平日)

YYY → XXX駅 XXX駅 → 備後庄原駅

備後庄原駅 → XXX駅 XXX駅 → YYY

参加高校生1人1人に合った利用プラン(平日・休日版)を作成・配布

芸備線でおでかけしてみん？

高校 ●●●●さんの場合

行き
家から駅まで
自宅 → YYY/線 → 備北交通 → XXX駅 → 芸備線 → 備後庄原駅 → 徒歩 → イオンモール広島府中

帰りに
お出かけから家まで
イオンモール広島府中 → 徒歩 → 備後庄原駅 → 芸備線 → 三次駅 → 備北交通 → YYY/線 → 自宅

参加高校生1人1人に合った利用プラン(平日・休日版)を作成・配布



鉄道ファン向けイベント

- 目的
芸備線ファンを増やすこと、継続的に訪れてもらうことによる利用者増を図る
- 内容
 - ・ 三次発→備後落合駅→備後西城行の特別列車を運行
 - ・ 沿線フォトスポットで停車し、庄原DMO熊本氏によるガイドツアー、鉄道写真家、助川康史氏を講師に迎え、構図レクチャーを実施等
- 実施予定日：3月下旬 ※(2/7時点。講師を含め変更の可能性有)

データによる移動実態の把握と分析

NTTドコモのモバイル空間統計を活用した
人口分布及び動態調査

- 庄原市内，三次市内，安芸高田市内の芸備線駅周辺を対象
- KDDIクラウド型GISも活用しミクロな解析・分析
(125mメッシュ単位の来訪者分布，道路単位の通行者データ)
- 移動需要を見える化し，移動手段を芸備線に転換する支援策の提案

学校(学生)・市民・企業等が取り組み始めている活動について、県が実施に向けて支援

- 県立広島大学，西城紫水高等学校，住民による芸備線を活用した環境に優しい観光ツアー「ニューツーリズム」の研究
- 国営備北丘陵公園との連携→たたら製鉄の歴史に触れ体験ができるツアーと芸備線との連携を協議
- 外国人移住者を積極的にターゲットにした移住定住施策やチーム500との連携による駅を中心（結節点）とした賑わいづくり。
- 庄原市と新見市の観光施策での連携（同じ観光エリアとして観光客の相互往来，宿泊施設の融通）
- 広島大学学生の芸備線利用促進研究との連携及び活動の広域展開
- 庄原市の芸備線観光プロダクトとの連携

県独自事業

- 地元市，沿線協議会が企画する利用促進策への補助
- 沿線市と連携し，企業の車通勤を芸備線に転換する取り組み
- 通学MMの取り組みが引き続き行われるよう高校と連携・支援

ご清聴ありがとうございました。

ええね！芸備線。